

自然ふれあいウォーク 初夏の県立いせはら塔の山緑地公園を 歩いてきました。

5月26日(木) 9:15~12:00 晴れ 26℃

公園の園路に沿って初夏の山野草を観察しました。
また、出会ったチョウの説明や植物との関係なども
話しました。

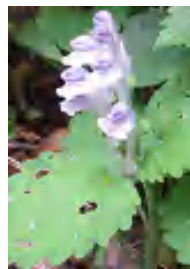


サイハイラン (ラン科)

1 タツナミソウの似たもの同士の簡単な見分け方。



タツナミソウの
実
開花期
5月上旬、
草丈
30cm前後
花は根元から垂
直に立ち上る。



オカタツナミ
開花期
5月中旬、
草丈
40cm前後
花は長い穂にな
らず短い。



ヤマタツナミ
開花期
5月下旬、
草丈
20cm前後
花は根元から
斜め60度の
角度で咲く。

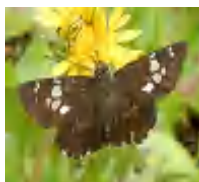
- 2 サイハンラン (ラン科) が開花期を迎え沢山咲いていました。
一時、少なかったのですが少しずつ増えているようです。
- 3 チョウの食草 (ノジスミレ、ガガイモ、オオバウマノスズクサ) の葉の裏に産み
つけられた卵を探しました。ガガイモとアサギマダラの関係なども話しました。
- 4 パークセンターの東側から南側にかけての小さな草原にはハルジオンやタンポポの
花が満開。チョウが盛んに蜜を吸っていました。



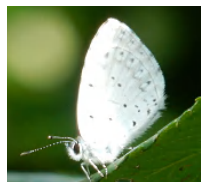
ミドリヒヨウモン♂



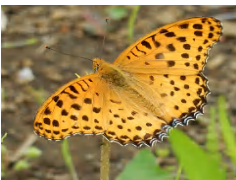
モンキチョウ♀



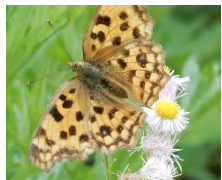
ダイモウセリ♂



ルリシジミ



ツマグロヒヨウモン♂



キタテハ♀



コムスジ♀



テングチョウ



*参考：写真のチョウ以外にも隣接するクリ畑などに沢山います。
(アカシジミ、ウラナミアカシジミ、ウラゴマダラシジミ、イチモンジチョウなど)

参加者の声 大磯辺りにはヤマタツナミはほとんど見られない上、ミミガタテンナン
ショウは少なくウラシマソウは沢山あるなど、伊勢原市との違いも
分かり面白かったです。(大磯市からの参加者)

参加人数 15名 + GI : 8名 + 実習生2名 + パークセンター長 合計26名